

うっしっしいー情報2022

10月市



豊岡農業改良普及センター

10月12日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が78万3千円、雌が78万4千円でした。

普及センター調べ（税込価格）
（雄を除くため、JA公表数値とは異なります）

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
赤佐	5	0.890	747,120	5	0.884	723,360	10	735,240
丹波篠山	4	0.975	795,300	1	0.857	818,400	5	799,920
丹波	14	0.975	786,736	11	0.814	671,100	25	735,856
朝来	10	1.017	796,400	5	0.905	725,340	15	772,713
播磨	14	0.922	737,236	11	0.838	635,300	25	692,384
美方郡	64	0.974	791,020	42	0.891	914,126	106	839,798
豊岡	20	0.944	784,960	18	0.865	743,294	38	765,224
養父	19	0.945	818,921	19	0.860	777,063	38	797,992
摂津・神戸	11	0.962	759,800	13	0.858	740,046	24	749,100
県北C	4	0.904	677,875	3	0.728	582,267	7	636,900
市場全体	165	0.960	782,847	128	0.864	783,879	293	783,298

10月市種雄牛ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均価格
1	芳悠土井	-	-	-	10	0.891	1,000,120	10	1,000,120
2	山伸土井	11	1.106	826,100	6	0.965	871,017	17	841,953
3	照忠土井	8	0.971	818,950	10	0.818	808,280	18	813,022
4	丸若土井	29	0.976	827,428	17	0.837	741,141	46	795,539
5	照和土井	13	0.953	770,169	14	0.874	794,043	27	782,548
	総計	149	0.962	779,029	112	0.862	778,947	261	778,994
6	忠味土井	26	0.941	776,812	17	0.864	767,671	43	773,198
7	丸池土井	14	0.953	745,486	10	0.869	781,990	24	760,696
8	藤彦土井	10	0.967	784,300	7	0.883	701,486	17	750,200
9	丸春土井	4	0.881	710,600	6	0.858	682,550	10	693,770

価格は税込み (間検牛は除く、10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	芳悠土井	A	B	B	B	B	A++
2	山伸土井	A → A+	A++	C	A+	A+	A+ → A
3	照忠土井	B → C	A++	A	A+	A++	A
4	丸若土井	A	A++	A++	A	A++	A++ → A+
5	照和土井	A+	A+	C → A	B → A	A	A+
6	忠味土井	B	A+	A	A → B	A+	A++ → A+
7	丸池土井	D → C	A+++ → A++	D	B	A++	A++
8	藤彦土井	A++	A++ → A+	A → B	D	C → D	A+
9	丸春土井	B → C	A	B → C	B	A	A++



バックナンバー
はここから

北部農業技術センター提供 (育種価評価は令和4年2月現在)

生まれる前から子牛育成は始まっている!?

～病気に強い子牛を産んでもらうために～

1. はじめに

子牛育成はいつから始まると思いますか？生後直後に羊水で濡れた子牛を拭くことや、初乳の確実な給与でしょうか？実は、子牛育成は母牛のお腹にいる胎仔の段階で始まっています。先月号では、母牛の飼養管理についてお伝えしましたが、今月号は生まれてくる子牛の免疫力を高める飼養管理についてお伝えしたいと思います。

2. 子牛の免疫について？

(1) 子牛の免疫は2種類

子牛の免疫は、「液性免疫」と「細胞性免疫」の2種類があります(図1)。2つとも聞き慣れない言葉ですが、新生子牛でいうと免疫グロブリンなどの免疫物質を含む初乳が液性免疫にあたります。また細胞性免疫はリンパ球などの免疫細胞を指し、胸腺で生産されます。そこで初乳の機能成分を強化し、胸腺を十分に発達させておくことが生まれてくる子牛の免疫力を高めることになります。

(2) 子牛の免疫はバトンリレー

母牛からもらえる初乳の効果は大体10日間とされています。それ以降は子牛自身が免疫を作っていかなければなりません。そこで第2走者が細胞性免疫を担う胸腺となります。生後2～3週間程度経過すると胸腺で免疫細胞を生産できるようになるため、子牛は病原体に対抗しつつ、免疫を獲得していきます。胸腺は生後24ヶ月には消失しますが、その後は第3走者の骨髄が盛んに免疫細胞を生産し、成牛の免疫システムを獲得することになります。

3. 初乳や母乳の機能成分を高めるには

(1) 分娩前の母牛にビタミン給与を行きましょう

母牛に給与している乾草は、ビタミンAやビタミンEが少ない上に、分娩時にはこれらのビタミンの消耗が激しくなるため、ビタミン不足を起こす可能性が高くなります。母牛のビタミンが不足すると母乳へ移行するビタミンも減少します。特に子牛のビタミンAが不足すると成長ホルモンの分泌が減少し、発育遅延の原因になります。分娩1ヶ月前から2週間前にビタミンの給与を行きましょう。

(2) 分娩前のワクチン接種で初乳の効果高めましょう

分娩前のワクチン接種で、初乳に含まれる免疫物質が増加します。初妊牛はワクチンの効果を高めるため、50日前と2週間前の2回、経産牛は2週間前に下痢ワクチン(5種混合不活化ワクチン)を投与すれば、通常免疫物質に加え、大腸菌やコロナウイルス、ロタウイルスに対する免疫効果が高まります。

4. 胸腺の発達を促しましょう

胸腺の小さな子牛は、下痢や肺炎などの感染症を発症しやすくなり、虚弱子牛として発育不良になるばかりか、最悪の場合死亡してしまう可能性があります。

それでは胸腺が発達した子牛を産ませるにはどのような飼養管理が必要なのでしょう。分娩2ヶ月前では胎仔が急激に発育するため、タンパク質の要求量が増大します(図2)。胸腺の発達の時期も分娩2ヶ月前であることから、配合飼料の増給に加え、加熱大豆などのバイパス性の高いタンパク質給与も効果的です。

5. 分娩前に母牛がストレスを受けると子牛の免疫力が低下します

分娩前に暑熱や寒冷などの環境ストレスや、給与飼料の乾物不足や劣悪な環境に置かれた場合、「コルチゾール」と呼ばれるストレス物質の血中濃度が高まります。この物質の血中濃度が高まると胎仔の胸腺組織を破壊するとされています。分娩前の母牛にはできるだけストレスを与えない環境を提供するようにしましょう。

妊娠末期の母牛管理は、弱い子牛が生まれるか、強い子牛が生まれるかの分岐点であり、子牛育成のスタートポイントです。今一度、増飼期にあたる分娩2ヶ月前から分娩までの飼養管理を見直し、免疫力が高く育てやすい子牛を分娩させましょう！

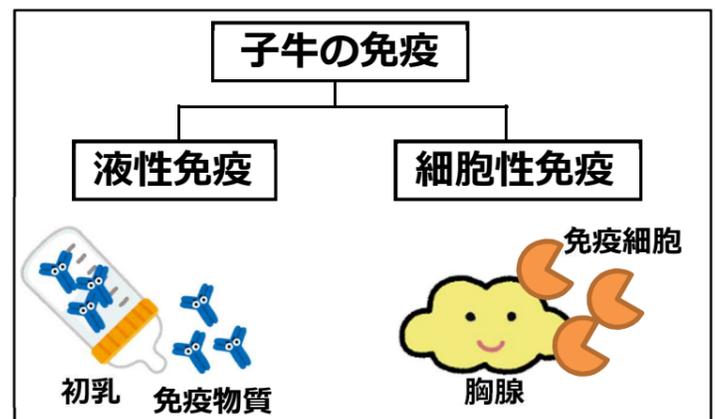


図1 子牛の免疫

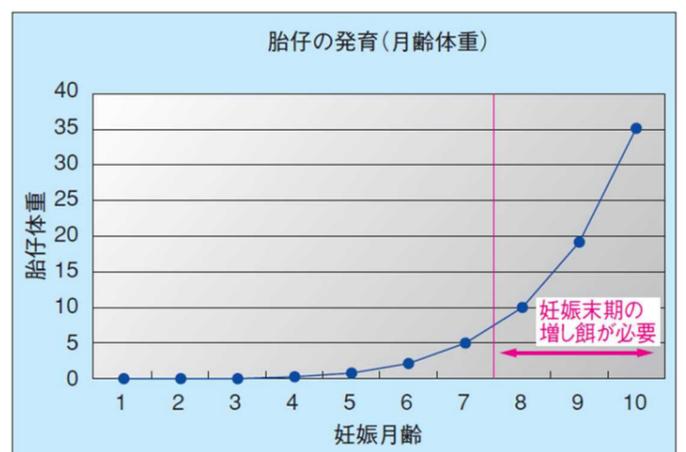


図2 胎仔の発育

和子牛の損耗防止マニュアル(畜産技術協会)より

分娩2ヶ月前の飼養管理のポイント

- ・ビタミン給与やワクチン接種を行い、初乳や母乳の機能成分を高めましょう！
- ・タンパク質を十分与え、胸腺の発達を促しましょう！
- ・母牛にはストレスを与えない環境を整えましょう！